

発達につまずきのある子どもの

コミュニケーション力を育てる支援

発達につまずきある子どもたち（知的障がい児も含める）は、コミュニケーション力に弱さがあることで、自分の思いをことばで伝えることができずに、大きなフラストレーションを抱えていることがよくあります。その結果として、人とのかかわりの中で様々なトラブルを起こすケースが多く見られます。このコミュニケーション力には、自分の思いを伝える力だけでなく、自己コントロール力や対人関係の能力等、様々な力も相互に関連し合っていると考えます。

そこで今回の研修会では、乳幼児期・児童期の発達につまずきのある子どもを対象に、コミュニケーションの発達という視点に添って、周囲との関係を保ちながら、自己コントロール力や対人関係の能力等も含めた「コミュニケーション力」の育成について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

講師

臨床発達心理士 スーパーバイザー

あずま

あっこ

東 敦子 先生

◆Profile

1995年 同志社大学大学院 文学研究科心理学専攻 博士課程後期単位取得終了

2006年「認知・言語促進プログラムスターターズキット(エスコール)」 津田望と共監

2008年「認知・言語・運動プログラム (明治図書)」 小堀あゆみと共同編集

在学中から、保健所や福祉センター、言語治療室などで、発達障害児の保護者アドバイスや直接指導に関わる。1989年より、のぞみ発達クリニック設立の準備スタッフとなり、主任を経て所長に就任。2016年10月より、児童発達支援センター「のぞみ学園かめあり」園長就任。



日時

平成 29 年 2 月 12 日 (日)

13:00～16:00 (受付 12:30～)

場所

愛媛大学教育学部 1 号館 4 階 401 教室

松山市文京町3番 <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

参加料

◆ 日本臨床発達心理士会会員 500 円 ※事前申込不要

※ポイント=1ポイント ポイントノートとIDカードを持参ください。

◆ 一般参加 (会員以外) 無料

※一般参加については、メールか裏面の申込書(FAX)にて申込みをお願いします。

